

本調査研究は、モーターボート競走公益
資金による財日本船舶振興会の補助金を
受けて実施したものです。

九州圏における貯蔵そう倉庫(サイロ)の 整備のあり方に関する調査研究 — 報告書 —

昭和63年3月

財団法人 九州海運振興センター

は し が き

本報告書は、当センターが（財）日本船舶振興会の昭和62年度補助事業として実施した「九州圏における貯蔵そう倉庫（サイロ）の整備のあり方に関する調査研究」の成果をとりまとめたものである。

我が国の食糧供給は、外国からの穀物輸入に大きく依存しており、今後、食糧消費の多様化、高度化、国内需要構造の変革等に伴って穀物輸入の増加が見込まれている。

また、九州圏における牛、豚、鶏といった畜産物生産量は、全国シェアの30～40%と畜肉生産基地としてのウエイトが極めて高く、飼料原料、撒穀類の輸入は増加の一途を辿っており、九州圏内の貯蔵そう倉庫の庫腹量は、昭和45年からの15年間で約6倍の整備が図られ、さらに志布志港における大型サイロの建設や宮崎・熊本港などの大型港湾の整備が進むなかで、新たなサイロ施設の建設が検討されている。

本調査研究は、このような状況のもとで、貯蔵そう倉庫の現状と機能及び流通システムの問題点、並びに荷主企業の流通意識、需要動向等を把握し、九州圏内における今後の貯蔵そう倉庫の整備のあり方を検討したものであり、この報告書が関係者の方々にいささかなりともご参考になれば幸いである。

最後に、本調査研究に際して終始ご指導、ご協力を賜った北九州大学白石教授をはじめ委員各位、関係官庁並びに関係業界の方々に、改めて感謝の意を表する次第である。

昭和63年3月

財団法人 九州海運振興センター

会長 邑本義一

「九州圏における貯蔵そう倉庫（サイロ）の整備のあり方に関する調査研究」

委 員 名 簿

（順不同 敬称略）

委員長	白石 馨	北九州大学教授・産業社会研究所所長
委員	吉原 謹三	三井倉庫(株)九州支店長
〃	杉野 公彬	渋沢倉庫(株)関西営業本部部長補
〃	高橋 弘	博多港サイロ(株)常務取締役
〃	野上 英夫	玄海サイロ(株)代表取締役社長
〃	沢部 昌次郎	南日本グリーンセンター(株)常務取締役・鹿児島事業所長
〃	馬崎 茂義	九州運輸局運航部長
幹事	峰 武次	九州地方倉庫業連合会事務局長
〃	花田 陽祐	九州運輸局運航部倉庫課長
〃	山口 迪	九州運輸局企画部貨物流通企画課長
事務局	河内 博志	九州運輸局企画部貨物流通企画課補佐官
〃	富迫 昭吉	九州運輸局運航部倉庫課監理係長
〃	弘中 吉昭	(財)九州海運振興センター調査役
集計解析	伊藤 敏安	(株)日本統計センター主任研究員

目 次

第1章 調査の概要	
1. 調査の目的	3
2. 調査の体系	4
3. 調査の回収状況等	5
第2章 九州圏における営業サイロの現況	
1. 事業者数と庫腹量	9
2. 保管実績	16
3. 構造・建設年次別庫腹量	20
第3章 九州圏における営業サイロの存立基盤	
1. 農産物の需給と流通の概況	25
2. 九州圏における畜産と飼料需給の動向	39
3. 営業サイロにかかわる基盤整備の概況	56
第4章 営業サイロ事業者の現況と貨物の流動状況	
1. 設備と搬入・搬出状況	71
2. 情報化への対応	74
3. 荷主ニーズへの対応	76
4. 事業の景況	78
5. 立地場所の評価と新增設計画	82
6. 貨物流動の状況	85
7. サイロ貨物の流動状況	93
第5章 サイロ関連企業の生産状況と生産見通し	
1. 生産状況	117
2. 流通ルート	121
3. 営業サイロの利用状況	128
4. 生産見通し	131
第6章 九州圏における営業サイロの整備方向	
1. 営業サイロの整備計画	137
2. 営業サイロの整備方向	150
	* * *
参考資料（調査票）	157

詳細は当センターへお問合せ下さい

(財)九州運輸振興センター

電話 : 092-451-0469

e-mail : info@kyushu-transport.or.jp